

### 3 地域の将来像

～豊かな自然と文化をいかし、  
一人ひとりが安心とにぎわいを実感できる希望の山城づくり～

山城地域に暮らす人も訪れる人も、その一人ひとりが豊かな自然と文化にはぐくまれた地域の魅力に触れ、安心とにぎわいを実感し、交流や協働を通じてさらににぎわいを創出することができる希望の山城地域をつくるため、地域の特性をいかしながらめざすべき将来像を次のとおりとします。

#### 《めざすべき将来像》

##### 【一人ひとりが支え合い、だれもが安心して暮らせる地域】

山城地域のほとんどの市町村において将来的に人口は減少し、集落の維持が困難になる地域があると推定されていることから、若者が希望を持って結婚し、子どもを産み、育てられる社会にするとともに、一人ひとりが支え合い、子どもから高齢者まであらゆる世代の人々が健やかに暮らせる地域をめざします。また、人口増加と人口減少に直面する都市と農村が隣接する特徴ある地域構造をいかした連携を深めるなど、都市部と農村地域が共存する地域をめざします。



さらに、近年、世界規模で異常気象が続くとともに、大規模な地震や風水害等が多発しており、山城地域においても、想定を超える自然災害が発生していることから、重点的に「防災・減災対策」を行うとともに住民協働による防災の取組を進め、だれもが安心して暮らせる地域をめざします。

##### 【思いやりにあふれ、だれもがいきいきと活躍できる地域】

地域の人々が安心して暮らすためには、一人ひとりの尊厳と人権が尊重される社会でなければなりません。そのために、だれもが人権の尊重を日常生活の習慣として身に付け実践できるように、あらゆる場を通じて人権教育・啓発等の取組を行い、思いやりにあふれる地域をめざします。



また、これからの山城地域を創っていく主役となる子どもたちを社会総がかりで育てる環境づくりを行い、永い歴史の中で受け継がれてきた地域の文化・伝統の振興を図り、郷土を愛する人々がつながりを深め、地域課題の解決につなげることのできる地域をめざします。

さらに、男女の人権が等しく尊重され、性別による固定的な役割分担にとらわれず、あらゆる場において女性も男性もその個性と能力を発揮し、いきいきと活躍できる地域をめざします。

## 【人・もの・情報の交流が盛んな、にぎわいを実感できる地域】

平成 25 年 4 月に京都第二外環状道路（にそと）が全線開通し、人・もの・情報の交流が促進されるとともに、今後は新名神高速道路の全線開通、JR 奈良線の高速化・複線化第二期事業が進められるなど、山城地域は関西の交通の結節点として新しい時代を迎えようとしています。



このような中で、世界文化遺産登録をめざす宇治茶の生産や景観資産を軸とした様々な取組を包含しながら平成 26 年度から京都府と市町村、地域住民等が連携して取組を進めている「お茶の京都」づくりや、乙訓地域における竹資源をいかした観光・産業振興などの取組を進める「乙訓『若竹』産業創造プロジェクト」を推進しています。

また、外国人観光客を含めた旅行者のニーズに対応した魅力ある観光施策や、競争力のあるブランド京野菜等によって新たなビジネスを生み出せる農林業、今後向上が期待される交通の利便性をいかした商業機能や国際的な物流機能、関西文化学術研究都市をはじめとする学術研究機関等の集積をいかした産学公の連携等を進めることにより、京都府経済をリードし、交流が盛んな、にぎわいを実感できる地域をめざします。